

# 一般質問通告一覧

平成29年第1回島田市議会定例会

平成29年3月6日・7日・8日本会議

島田市議会

◎ 発言順位

平成29年3月6日（月）

（頁）

【代表質問】

2番	杉野直樹	議員	（桃李の会：一問一答）	-----	1
14番	紅林貢	議員	（きょうどう島田：一問一答）	-----	2
8番	村田千鶴子	議員	（魁しまだ：一問一答）	-----	3
16番	八木伸雄	議員	（創造島田：一問一答）	-----	4

【個人質問】

1番	青山真虎	議員	（一問一答）	-----	5
17番	藤本善男	議員	（一問一答）	-----	6
15番	福田正男	議員	（一問一答）	-----	7

平成29年3月7日（火）

18番	平松吉祝	議員	（一問一答）	-----	8
3番	横田川真人	議員	（一問一答）	-----	9
13番	大石節雄	議員	（一問一答）	-----	10
7番	清水唯史	議員	（一問一答）	-----	11
6番	伊藤孝	議員	（一問一答）	-----	12
5番	森伸一	議員	（一問一答）	-----	13
11番	佐野義晴	議員	（一問一答）	-----	14

平成29年3月8日（水）

4番	山本孝夫	議員	（一問一答）	-----	15
12番	仲田裕子	議員	（一問一答）	-----	16
10番	桜井洋子	議員	（一問一答）	-----	17

○一般質問の質問時間のめやす

（3月6日）

質問者	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目	7人目
質問時間	9:30 ～ 10:30	10:30 ～ 11:30	11:30 ～ 13:30 休憩含む	13:30 ～ 14:30	14:45 ～ 15:35	15:35 ～ 16:25	16:25 ～ 17:15

（3月7日・8日）

質問者	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目	7人目
質問時間	9:30 ～ 10:20	10:20 ～ 11:10	11:10 ～ 12:00	13:00 ～ 13:50	13:50 ～ 14:40	14:50 ～ 15:40	15:40 ～ 16:30

※ あくまでもめやすです。

議員により質問時間は変動しますので、あしからず御了承ください。

## 【代表質問】

### 1. 2番 杉野直樹 議員（桃李の会） （一問一答）

#### 1. 市の災害対策について

近年、さまざまな災害が全国で発生しており、当市においてもいつ来るかわからない災害に対して万全な備えを講じなければならない。実際に災害が発生しなければわからないこともある中でさまざまな事態を想定し、シミュレーションを繰り返すことで、災害対策の質を限りなく向上していく必要があると考えることから、これまでの災害対策の検証とこれからの防災について、以下伺う。

- (1) 市において想定される災害は何があるか。
- (2) 隠れた災害を発見するためにはどのような取り組みが必要か。
- (3) 被災時のボランティアの受け入れについて、窓口や取りまとめはどこが行うか。
- (4) 災害廃棄物処理計画について、防災と関連性はあるか。

#### 2. 市の観光産業について

新東名島田金谷インターチェンジ周辺の開発について市では着実な進捗が見られるが、賑わい・交流拠点区域を市とともに整備する予定の民間企業3社に関しては、それほど進捗しているようには感じられないことから、全体の進捗について、以下伺う。

- (1) 4者による協議は定期的に行われているか。
- (2) 市の計画と、民間企業との計画は連携できているか。
- (3) 民間企業3社の進捗状況はどうか。
- (4) 市が構想する賑わい・交流拠点区域は、年間何人ぐらいの集客を見込んでいるか。

#### 3. 協働のまちづくりについて

本年度、協働のまちづくりを推進するために市民活動室が設置された。今後さらに活発な市民との協働を推進するために島田市地域交流センター歩歩路の全体的な活用を計画しているとの事だが、どのような計画か、以下伺う。

- (1) 市民活動室の利用状況はどうか。
- (2) 今後、協働のまちづくりのために歩歩路をどのように活用していくのか、市の具体的な構想はあるか。

2. 14番 紅林 貢 議員 (きょうどう島田) ( 一問一答 )

1. 平成29年度施政方針について

人口減少や高齢化が日本の大きな課題となっており、当市も例外ではない。平成29年度の当初予算は前年度比2億7,700万円増の積極的な編成となっているが、平成29年度の施策にどのように取り組むのか方針を伺う。

- (1) 市長が掲げる「確かな未来」とは、どのようなイメージを持っているか。
- (2) 大型事業など、今後取り組まなければならない施策を実施しながら財政の今以上の健全化にどう取り組むか。
- (3) 平成29年度当初予算案のポイントに示された重点施策及び予算の特徴である3つのキーワードについて、これらを次期総合計画にどのようにつなげていくか。
- (4) 大型プロジェクトなど施策について
  - ① 新東名島田金谷インターチェンジ周辺整備事業について
    - ア 道路や排水施設等を先行して整備するとあるが、対象区域全体の調査及び詳細設計の進め方はどうか。
    - イ 最優先に整備する方針のゾーンの整備手法はどうか。
    - ウ 長期で整備するゾーンについて、民間需要を導入と示されているが、具体的な取り組み内容はどうか。
    - エ 賑わい・交流拠点整備事業の進捗状況はどうか。
  - ② 新市民病院建設について
    - ア 事業費が事情により上下する可能性もあるとしているが、当初示された250億円を上回ることはないか。
    - イ 新市民病院においても医師や看護師の確保は課題であるが、確保への努力はどうか。
  - ③ 市役所周辺整備構想の検討について
    - ア 市役所周辺整備検討委員会では、目標年度を設けているか。
    - イ 議会や市民の意見を聞く機会はあるか。
  - ④ 平成29年度の組織再編で「茶業振興室」を設ける狙いは何か。

### 3. 8番 村田千鶴子 議員 (魁しまだ) ( 一問一答 )

#### 1. 健やかで幸せに暮らせる健康・福祉のまち

当市では、包括ケア推進課を中心に高齢者が住みなれた地域で生活を継続できるようにと地域包括ケアシステムの確立に向けて取り組んでいる。団塊世代の方々が医療ニーズや介護ニーズの高い後期高齢者となる2025年（平成37年）も刻々と迫っている。単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者がますます増加傾向の現状において、当事者はもちろんのこと介護家族を支える支援対策とともに、地域の支援体制の整備が不可欠であると考ええる。

高齢者が地域で安心して生活できる環境の観点から、市内連携して取り組む課題として、以下当局の所見を伺う。

- (1) 当市の地域包括ケアシステムの確立に向けての進捗状況、課題は何か。
- (2) 地域包括ケアシステムを全市的に推進していく上で、地域の担い手をどのように想定しているか。
- (3) 医療と介護の一体の推進に向けてどのように取り組んでいくか。
- (4) 介護家族に対する財政的、精神的支援対策の内容は具体的にはどうか。
- (5) 高齢者の免許証返納後の交通弱者の移動手段対策についてはどのように考えているか。

#### 2. 子どもの貧困対策実態調査事業の今後の取り組み

見えにくいとされる子どもの貧困は、その対策について社会問題となっており、9月定例会で質問されている。当魁しまだは、都道府県別統計で子どもの貧困率が全国一高い沖縄県の状況、特に、全国初である市と小学校PTAが連携し「こども食堂」に奮闘している浦添市を昨年11月に視察し、改めて子どもの健全育成には、行政・学校・地域の連携そして、その橋渡しにはPTAの存在が大きいことを実感した。視察を踏まえ、当市の子どもに対する貧困対策について、以下当局の所見を伺う。

- (1) 子どもの貧困対策実態調査事業の背景及び概要はどうか。
- (2) 今後の取り組みについてはどうか。
- (3) 対象者を限定しない子どもたちの居場所づくりの考えはどうか。

4. 16番 八木伸雄 議員 (創造島田) ( 一問一答 )

1. 行政改革に逆行する市役所組織の拡大

市長並びに議会はことしの5月で改選期を迎える。この4年間での活動に対し市民から評価を受けることになる。

自身を振り返れば及第点に達しているか甚だ疑問である。全力で取り組んできたにもかかわらず、さまざまな要因から、市民の負託に応えきれていない事案が相当あり、今後の課題が山積しているといしか言いようがない。

一方市長は、自らの市政運営をマニフェスト達成の実施率から、97点と評価している。市民の評価と著しく乖離していると思われる数々の施策について、過去の議会での答弁の真意とともに、来るべき市長選に臨む考えを伺う。

- (1) 経常収支比率の人件費の占める割合が近隣の市はもとより、山間地を含め広大な面積を抱える近隣の町より高い。市の人件費率を改善する必要があると思うが、市長の認識はどうか。

2. 低下した市民サービス

市役所組織が拡大する一方でさまざまな市民サービスの低下を嘆く声が多い。市長には市民の声は届いているか、以下質問する。

- (1) 市長は、4年間での市のさまざまな施策に対して市民の不満の声を聞いている。市長はどのように感じているか。また、どのような意見が多いか。
- (2) コミュニティバス運行の変更は、担当課に対してどのような意図を持ってどのような指示をしたか。
- (3) すぐやる係の現場作業員を減少させたが、作業に影響が出ると思っていないか。また、高齢化社会を迎えより重要性を増す作業員の減員の意図は何か。
- (4) 市民病院の医師が減少した。市民の安全は守れるか。また、財政負担はどうか。さらに、病院運営に対する見解はどうか。
- (5) 市の土木事業費の実績は、4年間で30%以上減少した。予算確保についてどのような対応をしてきたか。
- (6) ボールペン1本から公共事業まで、市の発注する事業は市内業者にとってきたが、いまだに応えがない。市長の認識を伺う。

## 【 個人質問 】

### 5. 1番 青山真虎 議員 （ 一問一答 ）

#### 1. 島田市の未来ビジョン

世界でも類を見ない少子高齢化社会が訪れようとしている日本の島田市。どのような時代が訪れようとも行政は「廃」から「活」を見出し、市民に寄り添った職務を全うしなければならないが、企画から事業についてはその過程においても「方針やビジョン」が問われる。この4年間の総括として各事業において、方針やビジョンに実際にのっとりたものだったか検証したく、以下伺う。

- (1) 現在市政の向かっている道はどこか。
- (2) 方針は何か。
- (3) 将来ビジョンは持っているか。
- (4) 市民は今後どのような生き方が望ましいと考えているか。
- (5) そのためには何が必要か。
- (6) 各事業や将来に向けた企画は理念にのっとりたか。
- (7) 市が時代に合わせて発展しない根本的な原因を究明したか。また、その結果はどうか。

6. 17番 藤本善男 議員 ( 一問一答 )

1. 島田市総合計画後期基本計画の進捗について

島田市総合計画後期基本計画では、人口減少社会における持続・発展可能なまちづくりを進めるため、3つの重点プロジェクトを立ち上げ、重点的に各施策を展開することとしている。

計画の進捗状況を把握するために行われた市民意識調査によれば、満足度が低く重要度が高い「重点取組エリア」には現時点で11項目が取り上げられており、とりわけ雇用の確保・勤労者の福祉の充実、魅力ある商店街づくりなどの商業振興は市民満足度が低い状態である。

総合計画の最終年度となる平成29年度はこれらへの取り組みが最重要課題となることから、今後の取り組みについて、以下伺う。

- (1) 後期基本計画で位置づけられた重点プロジェクトの取り組みをどのように評価しているか。
- (2) 島田市総合計画市民意識調査結果について
  - ① 市の取り組みに対する満足度と重要度についての市民意識を、どのように評価しているか。
  - ② 今後の市政の取り組みについての市民意識の変化を踏まえ、どのような取り組みを行うか。

## 7. 15番 福田正男 議員 ( 一問一答 )

### 1. 補助金行政のあり方について

補助金は行政の全般にわたり、その代行や補完の役割を果たし、行政の効率性の上から有効な制度である。しかしながらややもするとそれが既得権化し、漫然と継続しているのではないかと批判されているのも事実である。人口減少社会を迎えるに当たって、税金が減少する中、歳出を削減することは最重要課題であり、市民にとって本当に必要な補助金なのかどうかを検証すべきではないかと思ひ、以下の諸点について伺う。

- (1) 補助金交付の根拠法令は何か。
- (2) 補助金交付の基準はどのようになっているか。
- (3) 補助金対象の個人や団体のチェック体制はどのようになっているか。
- (4) 平成29年度の補助金合計額は幾らか。
- (5) 補助金をゼロベースで見直す考えはないか。
- (6) 民間有志で補助金検討委員会を立ち上げ、補助金の是非を検討する考えはないか。

### 2. 学校施設の整備計画と周辺整備について

公共施設白書が策定されてから何年もたつが、再配置計画が示されていない。今回は学校関連施設に絞り、以下質問する。

- (1) 島田第一小学校の今後の整備方針について伺う。
- (2) 伊太小学校の今後の整備方針について伺う。
- (3) 島田第一小学校の通学路の整備について伺う。

### 3. コミュニティバスの見直しについて

平成27年度にコミュニティバスの大きな見直しを行った。その見直しにより、多くの市民から不平や不満を聞いている。今後大幅な見直しをする考えはないか伺う。

## 8. 18番 平松吉祝 議員 ( 一問一答 )

### 1. 六合地区の道路整備について

六合地区は人口2万人弱で6つの小さな村が一緒になった地域である。当市の東の端に位置するがJR六合駅ができ、人口減が進む当市の中で人口が増加している希少地域である。しかしながら、六合地区は長年その納税に見合う恩恵を受けていないのが実情である。基礎となるインフラ整備の充実を訴え続けているが、現実には少しずつ少しずつの前進である。前進ならよいが時として後退する。ゆえに住民は常に訴え続けなければならない、六合地区の当然の権利を知り適正な基本インフラ整備を訴え続けなければならない。地域に活力を与え発展するには基礎のインフラ整備は重要課題であり、その中でも道路整備について、以下伺う。

- (1) 谷口道線はどのような計画になっているか。
- (2) 六合駅前の道悦弘法道線は大変混雑し危険度が高いが、どのように考えているか。
- (3) 東町御請線が今年度完成する。完成後、御請道悦線整備を行うとのことだがどのような計画になっているか。
- (4) 道悦旭町線の歩道整備の測量を行った。今後の計画はどうか。

### 2. 旧六合公民館跡地について

旧六合公民館跡地への保育園建設計画が突然出されてから六合地区では大きな問題となっている。旧六合公民館跡地は住民に必要不可欠な土地であり、空間である。地域住民がインフラ整備の充実を訴え続けた結果として旧公民館跡地は現在の状態にあるにもかかわらず、それをなくそうとする計画は住民に到底理解されるものではない。先の9月定例会、11月定例会で一般質問したが、明確な答弁はなく、引き続き旧公民館跡地をどのようにするか、以下伺う。

- (1) 旧六合公民館跡地への保育園建設計画はどのようになったか。また、今後どのようにするか。
- (2) 人口減、少子化で定員割れしている幼稚園もある。認定こども園に移行する幼稚園が3園、新設保育園が1園、さらには保育士、幼稚園教諭不足問題もあり、新たな保育園建設の必要性があるか。
- (3) 六合幼稚園も認定こども園に移行していくのか。

9. 3番 横田川 真人 議員 ( 一問一答 )

1. 土地の有効活用について

総面積315.7平方キロメートルのうち208.18平方キロメートルが林野という当市の環境において、市内の限られた土地の有効活用はどのように考えているか、以下伺う。

- (1) 高架下や河川敷のあいている土地を活用できないか。
- (2) 市有地の今後の活用計画はどのようになっているか。
- (3) 山林の活用は考えられるか。
- (4) 民間の力をどのように活用するか。

10. 13番 大石節雄 議員 ( 一問一答 )

1. 大井川の水環境と利用について

島田市と旧川根町が合併して8年が過ぎ9年目を迎えようとしている。二つの自治体が合併するということにはお互いの大きな努力と協力そして理解が必要であった。大なり小なりそれぞれの歴史や地域の持つ課題や問題がある。その中で、共有できた課題の一つに大井川の流れから受ける恩恵による水の価値があると思われる。当市議会としても、リニア中央新幹線工事に伴う土捨て場や大井川の上流部水力発電の現状を視察してきた。大井川の上流部を知ることにより、中流域や下流域で生活する住民として、関心を高めていかなくてはならないものと思ひ、大井川の水環境とその利用に関することについて、以下質問する。

(1) 塩郷堰堤の水利権更新について

- ① 水利権更新時期が2年後に迫っている。現在の取り組み状況について伺う。
- ② 大井川の清流を守る研究協議会の活動内容について伺う。
- ③ 塩郷堰堤より上流にあるダム水利権更新状況について伺う。
- ④ 今後、水利権更新に向けての市の取り組みについて伺う。

(2) 大井川の自然環境について

- ① 28年前に帰ってきた清流により大井川の自然環境は改善されたか。
- ② 現在、大井川の自然環境で問題となっていることはあるか。
- ③ 漁業協同組合の活動状況は把握しているか。
- ④ 大井川の自然環境保全に対する市の考えを伺う。

(3) 電源立地地域対策交付金について

- ① 交付金の目的と交付要件について伺う。
- ② 今後、利用を予定している事業は何か。

(4) リニア中央新幹線工事による影響について

- ① 工事に伴う大井川の減水問題の現状を伺う。
- ② 環境の変化に対する調査研究状況について伺う。
- ③ リニア中央新幹線工事による影響が出た場合の対応を伺う。

11. 7番 清水唯史 議員 ( 一問一答 )

1. 市民参画による施策の推進について

染谷市長は市長就任以来、市民の声の届く、市民が参画した、開かれた協働のまちづくりを目指してきたと思われる。そこで、市民参画による施策の取り組みとして、以下質問する。

- (1) 平成25年度に整備方針が見直され、4年が経過した「田代の郷整備事業地内の整備方針」が、平成29年2月8日の全員協議会において示された。その整備方針においても、利用が見込まれる幅広い年齢層の市民が参画した整備が進められることになっている。その内容について、以下伺う。
  - ① 整備方針に示された遊びエリア、多目的スポーツエリア、憩いの芝生エリアの利用対象者をどのように想定するか。また、その対象者からどのようにニーズや意見を聴取していくか。
  - ② タイムスケジュール（案）における総事業費、年度別の事業費及びその財源内訳はどうか。
  - ③ 整備完了後の利用予測及び利用促進のための方策はどうか。
- (2) 平成26、27年度の事業仕分けや4カ年にわたるゆめ・みらい百人会議など市民が参画し、事業の検証や提言が実施されて施策に反映されている。今後の市民参画の取り組みの方針について、以下伺う。
  - ① 第二期ゆめ・みらい百人会議からの提言を今後の施策にどのように反映するか。
  - ② 自主参加型の市民参画だけでなく、無作為抽出型の市民参画について検討する考えはあるか。

12. 6番 伊藤 孝 議員 ( 一問一答 )

1. ICTの活用について

ICTやIoTなどの言葉をメディアで聞かない日はない現代であり、地方自治体でもあらゆる面で活用し、市民サービス等の向上に利用している。

当市議会でもICT機器の活用を検討しており、市当局においても島田市緑茶化計画のPR動画やふるさと寄附金制度等でインターネットを活用しているが、他市におくれを取っているように感じる。それは、現在の職場や教育現場の環境がICTを活用するのに十分ではないと考え、以下質問する。

- (1) 市民サービス向上に向けての今後の計画はあるか。
- (2) 市職員の業務におけるICTの活用状況はどうか。
- (3) 学校教育におけるICTの活用状況について
  - ① 授業でのICTの活用の現状はどうか。
  - ② 来年度の取り組みはどうか。

2. 初倉地区の振興について

2012年4月14日に新東名島田金谷インターチェンジが供用開始され、新たな自動車の玄関口ができ、周辺に賑わい・交流拠点施設の建設が予定されている。1969年2月1日に東名吉田インターチェンジが供用開始され自動車の玄関口として48年が経過し、さらに2009年6月4日に富士山静岡空港が開港し空の玄関口ができた。しかし、いまだ初倉地区の振興がなされておらず、中途半端な開発が行われているため、吉田町に大型店が進出するなど、あらゆる面で不具合が生じている。以下質問する。

- (1) 今後の振興計画について
  - ① 工業振興の計画内容を伺う。
  - ② 農業振興地域整備計画の内容を伺う。
  - ③ 道路整備の計画内容を伺う。
- (2) 東海道新幹線新駅について
  - ① 県が設置に向けた測量等に入ったが市のかかわりはどうか。
  - ② 直下駅ではなく初倉側地上駅を望む声もあるが市の考えはどうか。

3. スポーツ振興について

若者のU・Iターンの促進が期待できる社会人硬式野球チーム「山岸ロジスターズ」が設立され話題になっているが、旧金谷中学校跡地を練習場所としている少年硬式野球チーム「島田ボーイズ」など硬式野球チームの練習場所がないと聞く。また、島田球場で硬式野球の大会が行われても試合前の練習場所もなく困っているとも聞く。同様に横井の人工芝サッカー場やテニスコートにおいても試合前の練習場所がないと聞くが、今後の整備計画について、以下質問する。

- (1) 各種スポーツ施設の要望はどのような状況か。
- (2) 横井運動場公園の整備計画はどの程度進んでいるか。

13. 5番 森 伸一 議員 ( 一問一答 )

1. 就学前の子どもの教育、保育環境について

当市では「しまだ子ども未来応援プラン」を作成し、子ども・子育て支援事業を進めている。その現状や平成32年以降の将来ビジョンについて、以下伺う。

- (1) 教育・保育の質の向上の施策に「発達支援コーディネーター養成講座」や「幼稚園、保育所、小学校等合同研修会の開催」がうたわれているが、具体的にはどのようなことを行い、どのような成果が出ているか。
- (2) 10年、15年先の幼稚園、保育園、認定こども園の数、定員、職員雇用などについて、どのような将来見通しや対応を考えているか。

2. 音楽施設、スポーツ施設整備について

新年度に提案された事業や公共施設マネジメントの推進等について、以下伺う。

- (1) 新市民会館の建設についてどのように考えているか。
- (2) プラザおおるりホールの予約希望日が重なり、確保に苦勞しているという話を聞く。現状をどのように把握し、どのような解決策を考えているか。
- (3) ぴ〜ファイブ 1階に音楽施設を整備するとあるがどのような内容か。
- (4) 島田球場改修事業が進められているが、最終的にはどのような団体の使用、用途を目標にしているか。
- (5) 田代の郷整備事業計画では、完成後どの程度の利用者を想定しているか。

14. 11番 佐野義晴 議員 ( 一問一答 )

1. まちの持続性について

平成27年10月に発表された「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」に、2060年の目標人口を8万人とする記述があったが、ある研究機関の資料によれば推計人口は6万7,600人とされている。

このような状況下にあつて、持続可能なまちづくりの見える化を図るため、所有する公共施設を計画的に管理する「島田市公共施設等総合管理計画」を策定した。

この計画策定は国の指導によるが、それでも市としてぼんやりであってもまち全体のイメージはあると考える。

以上を踏まえ、以下質問する。

- (1) 計画目標年次における、まちの将来像を伺う。
- (2) これから策定を考える各種まちづくりにかかわる計画と公共施設再配置計画（再配置計画）の関連性の有無を伺う。
- (3) 再配置計画の進捗状況を伺う。

2. 新市民病院建設にかかわる周辺整備について

昨年9月に発表された実施計画書及び新年度の施政方針に、新市民病院建設にかかわる周辺整備事業の計画発表があつた。

以上を踏まえ、以下質問する。

- (1) 計画概要とその工程を伺う。

15. 4番 山本孝夫 議員 ( 一問一答 )

1. 大代川による水災害の危険性とその対策について

金谷地区を流れる大代川による水災害を、地元住民は過去に何回か経験してきた。

最近では異常気象という言葉がよく使われ、いつどこで豪雨に見舞われるかわからない状況になっている。過去に氾濫を起こしてきた大代川の整備について地元自治会等からも要望が出されていると聞いている。

このことを踏まえ、以下質問する。

- (1) 過去、大代川の水災害はどのようなものがあったか。
- (2) その後の対策はどうか。
- (3) 今後予想される大代川に起因した災害は何か。
- (4) その対策はどうか。

2. 市長の施政方針を受けて

市長から平成29年度施政方針と予算の大綱が示された。これからの時代に則した市政運営をしないといけない。市をどの方向に導いて行くのか明確にするため、特に財源確保について、以下質問する。

- (1) 予算規模は大きくしていくか。
- (2) 自主財源と依存財源の割合はどうか。
- (3) 自主財源は何をもってふやすか。
- (4) 財政をよくする秘策はあるか。

16. 12番 仲田裕子 議員 ( 一問一答 )

1. 平成29年度施政方針と予算の大綱を問う

染谷市長においては、ことし5月の市長選挙立候補の意思が示された。平成28年度の施政方針の中で、「選挙を通じて示したマニフェストは総合計画基本計画に盛り込み実行する。」旨の決意が述べられた。あれから一年が経過した本定例会において平成29年度施政方針と予算の大綱が示され、市長2期目への意欲が伺われる。

そこで、以下質問する。

- (1) 地方自治体は市長と議員がともに直接選挙で市民から選ばれる制度だが、市長は議会の役割をどのように考えているか。
- (2) 新東名島田金谷インターチェンジ周辺開発は、前市長の時から引き継がれた事業だが、染谷市政になってから具体的な方向性が示されてきた。平成29年度には、産業観光部に内陸フロンティア推進課が配置される。以下伺う。
  - ① 「稼ぐ力」、「賑わい・交流拠点」は、市民の関心が大きく、平成28年度当初予算に賑わい・交流拠点整備事業に要する委託料2,584万5,000円が示され、平成29年度当初予算に2,383万円が示されている。平成28年度の成果と平成29年度予算との整合性はどうか。
  - ② 内陸フロンティア推進区域整備事業では、企業の具体的な問い合わせはあるか。
- (3) 4つのアプローチを示している中で、「市役所周辺整備検討委員会を立ち上げた。」旨の発言があった。公共資産をマネジメントする視点とは、金谷庁舎の今後も含めるのか伺う。
- (4) 施策の大綱の中で示した「産業がいきいきと活発なまち」の施策について、以下伺う。
  - ① 首都圏において茶販売促進事業は島田市緑茶化計画と関連付けるとあるが、どのような内容か。
  - ② シティプロモーション推進事業の予算を大幅にアップした理由は何か。また、内容はどうか。

17. 10番 桜井洋子 議員 ( 一問一答 )

1. 国民健康保険の広域化について

国民健康保険（国保）の財政改善、収納率向上、医療費の適正化を目標に、平成30年度から国保の都道府県化、いわゆる広域化がスタートする。これにより、国保は静岡県と島田市が共同で運営することになる。

この広域化について、以下伺う。

(1) 島田市の国保の現状について

- ① 平成28年度の加入世帯数・被保険者数と所得段階別の構成比率はどうか。
- ② 国保税の1世帯当たり、1人当たりの平均調定額はどうか。
- ③ 国保税の収納率はどうか。
- ④ 国保税の滞納状況と滞納を要因にした差し押さえの状況はどうか。
- ⑤ 国保税を滞納すると、有効期限限定の短期被保険者証や医療費10割負担の資格証明書が交付される。交付状況はどうか。

(2) 広域化後の市民への影響について

- ① 市から県へ納める国保事業費納付金はどのように決定されるのか。
  - ② 県統一保険料となり国保税の引き上げにつながるのではないかと危惧するがどうか。
  - ③ 医療費適正化の取り組みをどのように進めるか。
- (3) たまっている支払い準備基金の活用や一般会計の法定外繰り入れをして、高すぎる国保税の引き下げを実施すべきと考えるがどうか。

2. 生活困窮者自立支援対策について

生活困窮者自立支援法が成立し、市でも生活困窮者に対し、生活保護に至る前段階の自立支援を図る施策が実施されている。以下伺う。

- (1) 社会福祉協議会へ委託している自立相談支援事業の内容と実績はどうか。
- (2) 生活困窮者には、失職、収入低下、税金の滞納や借金など、抱えている問題が多くある。市として、問題解決に総括的、継続的に取り組む組織と体制が必要だがどうか。